



校長室 だより

平成30年 3月 5日

尼崎市立常陽中学校

校長 小谷 豪郎 No.15

卒業式・新たなスタートの時

いよいよ3月を迎えました。季節では、「雨水」暖かくなり今まで雪から雨に変わる、そんな季節から、今日は、「啓蟄」といって、暖かくなり冬眠していた虫たちが、土の中から出てくるといわれる季節になりました。

校庭の梅も「白梅」は満開になり「紅梅」もそろそろ見頃の時期を迎える時期になりました。やがて「桜」にバトンタッチし本格的な春がやってきます。校内の草木を見てそんな季節の移り変わりにも気づいてください。



いよいよ今週、卒業式を迎えます。34期生の皆さんとは、私が、この常陽中学校へ20年ぶりに戻ってきたのと一緒で、3年間共に過ごしてきました。初めて常陽中に勤務し入学式から3年間持ち上がり卒業式で送り出した、そのときのような感激があります。

先日高校の卒業式に参列してきました、本校の卒業生が、在校生代表として「送辞」を読んでいる姿がとても頼もしく、立派で他の中学校の校長先生方が、「あの子はどこの卒業生？」と話題になっており、とても誇らしく思いました。

君たちも、高校生活に夢と希望を持って進むことと思います。新しいスタートラインに立ち改めて、チーム常陽として頑張ってきた来たことを忘れず、常陽中学校の卒業生として胸を張り、後輩達の見本となるように「今を最高に生きる」のことばを忘れずに日々全力で取り組んでいってください。

『夢は決して逃げない、
逃げるのは、自分自身の弱い心』

(^_^)v (^_^)v (^_^)v (^_^)v (^_^)v (^_^)v (^_^)v (^_^)v

チーム常陽の活躍

- 全国人権作文コンクールへの学校全体の取組に対し法務省人権擁護局・全国人権擁護委員会から学校全体への表彰をいただきました。校長室入り口の掲示しています。
- 生徒だけではなく、本校の育友会が発行する広報誌、『常陽の友』が本年度も市内の57小中学校中の『優秀賞』をいただきました。おめでとうございます。これは、最優秀賞を含め3年連続受賞という輝かしい成果です。育友会広報部の皆さんご苦労様でした。

正面玄関内の雑飾り

2月末に1年3組の生徒たちが、玄関のひな人形の飾り付けをしてくれました。創立当初から季節の行事を取り入れ様々な飾りをしてきましたが、物自体が古くなり傷んでしまったり、生徒に落ち着き無く中学生としての自覚も無く、物を大事にしない、そんな時代があり玄関での飾り付けが徐々に無くなっていましたが、今ではそんな心配もなく皆が頑張っているし、たまたま、子どもさんが成長され、使わなくなったひな人形を譲ってくれるという方の情報を岩佐先生がつないでくださり、今年から復活することになりました。

最近では各家庭でこのような飾り付けをすることも少なくなっているようで、みんな興味津々でのぞきにきていました。

日本の文化、伝統、季節の行事を大切につないで行ってほしいと思います。



生徒と友に頑張る「育友会」

左記のように育友会の皆さんも、生徒達のことを考えているなどところで頑張ってくれています。



卒業式が近づき、育友会の皆さんが活動している「多肉部」念のために説明しておきますが、決して、私のような「太ってお肉が多い人の集まり」ではありませんよ。(*^_^*)

今流行の「多肉植物」を自分たちで育ててアレンジメントし観賞用にするといった活動をされているサークルです。

その「多肉部」の皆さんが、創作された物を卒業式を迎えるにあたり、校門内の掲示板周辺や正面玄関の中に飾ってくださっています。

サークル活動で自分たちの趣味として観賞用に創られた作品ですが、卒業式に向けて玄関周りを少しでも華やいだ雰囲気であればという暖かい思いが込められています。

校名板・スローガンの設置、ひな人形、多肉植物、その他、沢山の人が常陽中の生徒を思い、支えてくださっている。何気なく、当たり前で過ごしている普段の生活の中で、君たち一人ひとりが、このことを実感し関わってくださる全ての方々への感謝の気持ちを忘れないでください。m(_ _)m

【今月の言葉】

『 私は、人生の中で
何度も何度もくり返し 失敗した。
それが、私の成功した理由だ。 』